

酒造好適米の安定生産支援事業実施要領

第1 目的

温暖化により米の品質や収量が低下しやすくなっており、県はいちほまれなどの高温耐性品種を開発し、品種転換を進めている。一方、酒造好適米は高温耐性を持つ品種がないため、近年の環境の変化に応じた技術導入がより重要となっている。そこで、安定生産技術の導入に係る費用を支援し、酒造好適米の安定生産につなげる。

第2 補助事業者

市町

第3 助成対象者

令和8年度に酒造好適米を作付けする農業者および農業者の組織する団体

第4 採択要件

次の(1)～(3)全てを満たすこと。

- (1) 県が定める安定生産技術のうち1つ以上を導入すること
- (2) 令和8年度コメ新市場開拓等促進事業(酒造好適米)の申請をすること
- (3) 令和8年産の作付面積が令和7年産と同等以上であること

第5 安定生産技術

第4に定める安定生産技術は、次のとおりとする。

- (1) 適正な栽植密度の確保(60株/坪以上)
- (2) 生育診断の実施と生育状況に応じた追肥

第6 補助単価

酒造好適米の作付面積10aあたり1,500円とする。さかほまれは10aあたり2,500円とする。

ただし、要望額が予算額を超えた場合は、助成額を調整することがある。

第7 支援対象となる安定生産技術の実施期間

令和8年4月1日から令和8年10月31日までに実施したものを対象とする。

第8 事業実施手続等

- (1) 本事業を実施しようとする助成対象者は、本実施要領様式第1号に、経営所得安定対策等実施要綱Ⅳの第2の2に定めるコメ新市場開拓等促進事業の取組計画書様式第13-4号の1～2を添えて、補助事業者である市町に提出する。

(2)(1)の申請を受けた補助事業者である市町は、本実施要領様式第2号に、酒造好適米の安定生産支援事業総括表、コメ新市場開拓等促進事業の取組面積実施報告書様式第13-4号の1~2を添えて、所管の農林総合事務所または嶺南振興局に提出する。

(3)農林総合事務所および嶺南振興局は、酒造好適米の安定生産支援事業総括表を福井米戦略課に提出する。

第9 事業の着手

助成対象者が第7の実施期間内に実施した安定生産技術については、交付決定前であっても支援の対象とすることができる。ただし、交付決定を受けるまでに生じたあらゆる損失等は助成対象者の責任とする。

第10 事業完了報告

(1)本事業を実施した助成対象者は、本実施要領様式3号に、採択要件を満たすことを証す次の①~②の資料を添えて、補助事業完了後30日以内またはその翌年度の4月5日のいずれか早い日までに市町に提出する。

①安定生産技術の導入実績

安定生産技術の実施状況に関する書類（本実施要領参考様式第1号）、栽培日誌

②酒米の作付面積

経営所得安定対策等実施要綱様式コメ新市場開拓等促進事業の取組面積実施報告書様式第13-5号の1~2

(2)(1)の報告を受けた市町は、農林水産部福井米戦略課所管補助金等交付要綱第6に定める事業実績報告書に、酒造好適米の安定生産支援事業総括表および本実施要領第10の(1)の①~②の書類を添えて、所管の農林総合事務所または嶺南振興局に提出する。

(3)農林総合事務所および嶺南振興局は、酒造好適米の安定生産支援事業総括表を福井米戦略課に提出する。

附 則 この要領は令和8年3月24日から施行する

様式第 1 号

番 号
令和 年 月 日

〇〇市町長 様

△△ △△

令和 8 年度酒造好適米の安定生産支援事業実施計画書

酒造好適米の安定生産支援事業を下記のとおり実施しますので、実施要領第 8 の規定に基づき、関係書類を添えて実施計画書を提出します。

記

1 実施概要

| | | |
|---|--------------------------|--|
| 1 | 令和 8 年産の酒造好適米の作付面積 | a |
| 2 | 1 のうちさかほまれの作付面積 | a |
| 3 | 補助金額 | 円 |
| 4 | 安定生産技術の取組み (取り組むものに○) | 1) 適正な栽植密度の確保 (60 株/坪以上) 2) 生育診断の実施と生育状況に 応じた追肥 |

2 添付書類

コメ新市場開拓等促進事業の取組計画書様式第 13-4 号の 1~2

様式第2号

番 号
令和 年 月 日

〇〇農林総合事務所長等 様

〇〇市町長

令和8年度酒造好適米の安定生産支援事業実施計画書

酒造好適米の安定生産支援事業実施要領第8の規定に基づき、下記のとおり関係書類を添えて実施計画書を提出します。

様式第3号

番 号
令和 年 月 日

〇〇市町長 様

△△ △△

令和8年度酒造好適米の安定生産支援事業完了報告書

酒造好適米の安定生産支援事業実施要領第10の規定に基づき、関係書類を添えて完了報告書を提出します。

参考様式第1号

令和8年度酒造好適米の安定生産支援事業実績報告書

1 生産者名

2 作付面積

| | |
|----------------|---|
| 令和8年産酒造好適米作付面積 | a |
| うちさかほまれ面積 | a |
| 令和7年産酒造好適米作付面積 | a |

3 安定生産技術

(1)、(2)のうち1つ以上を実施

(1) 適正な栽植密度の確保 (60株/坪以上)
(該当するものに○、選択肢にない場合は記入)

| |
|--------------------------|
| 栽植密度 |
| 60株/坪 ・ 70株/坪 ・ _____株/坪 |

(2) 生育診断の実施と生育状況に応じた追肥

- ・ 追肥をした場合は栽培日誌に記録
- ・ 追肥をしなかった場合は理由を記入

例1) 作見会に参加し、指導機関から追肥不要と判断された
例2) 営農情報を参考に生育を確認したところ、葉色が濃かった

4 添付書類

栽培日誌